

琴線 令和八年

森野 水琴

令和八年 二〇二六年 元日

『かわいい まごに 小学三年』が二千スター獲得 キリ番のエステル瑠璃
さんとの共作

上の句はエステル瑠璃さん

いとおいしい 小さき手をば 握りしめ
ともに走らむ 休みの朝に

令和八年 二〇二六年一月五日

『新たな響き』にて詠む

今宵また 新たな響き 愛でながら
ただよっていく 時のまにまに

本歌へのエステル瑠璃さんのページコメントとの共作
上の句はエステル瑠璃さん

流されぬ 強き想いを 胸に秘め
果てることなく 熱く待つ日々

令和八年 二〇二六年一月十一日

『新たな響き』にて詠む

音に聞く 苦しむ響き 受けとめて

今この時に 祓はらひたまはむ

令和八年 二〇二六年一月十三日
『琴線 令和八年』が百スター獲得 キリ番のエステル瑠璃さんとの共作
上の句はエステル瑠璃さん

歌を詠み 元気に走る 謎の君
熱き想いを 誰に届けむ

詠み人知らずとの共作
上の句は詠み人知らず

ただようて あかねの声に 夜は染^そみ
あかつきを待つ 風のまにまに

令和八年 二〇二六年一月十四日
詠進歌 お題「明」

薫る風 明けゆく空に 届けむと
さもあてやかに 立ちのぼるかな

令和八年 二〇二六年一月十五日
『金の翼』が七百スター獲得 キリ番のエステル瑠璃さんとの共作
上の句はエステル瑠璃さん

涙さえ 出ぬ悲しみに 名前なし
呼ぶに呼べねど 探す君の名

令和八年 二〇二六年一月二十日
詠み人知らずへの返歌

詠み人知らずの第一首

心ごと 触れられたとき ぬくもりの
意味を知ること あなたの愛と

返歌

夜ごと知る 肌のぬくもり 抱いだきつつ
あかねの空に 舞うを見るらむ

詠み人知らずの第二首

たいせつな きずなを深め 敬愛に
ほどける鎖 虹を見る夜

返歌

降りつづく やらずの雨が やんだとき
あかつきに見る 虹の架け橋

令和八年 二〇二六年一月二十二日
あかね見ゆ 空ながめては 泣きぬれる
いかで此の夜を 待ちこがるかな

うすれゆく 想いを今に とどめむと
くりかえしては 言の葉つむぐ

わが胸に 顔うずめては 泣くがいい
昼ともいわず 夜ともいわず

淋しさも なかばになりぬ 寄りそえば
喜びゆえに 増やし続けむ

あかね増す 濃き色を見て ほほえまむ
まみえる時に 語らうために

泣きどころ 備えし者が 集いては
夜ごと待ちつつ 明ける時まで

令和八年 二〇二六年一月二十七日
『雪道』が千スター獲得を ことほぎて

寒い朝 想いを寄せる 雪国は
雪も深いが 情けも深い

エステル瑠璃さんとの共作
下の句はエステル瑠璃さん
その一

雪道を 帰り囲炉裏を 懐かしみ
熱い豚汁 囲んで憩う

その二
雪道を 帰り囲炉裏を 懐かしみ
心のもつれ 雪にとけ込む

令和八年 二〇二六年一月三十日

『美声に生きる』が千スター獲得 キリ番のエステル瑠璃さんとの共作
上の句はエステル瑠璃さん

美しき 声が響きし 雪の空
白き色さえ 心に届く

令和八年 二〇二六年一月三十一日

『小学四年生』が千スター獲得 エステル瑠璃さんとの共作
上の句はエステル瑠璃さん

凜とした 後ろ姿に 見惚れつつ
声響かせる るり色の空